

福地鶏が生産者へ譲渡されるまで



福井県畜産試験場の鶏舎で福地鶏のヒナが生産されています。



親鳥からの卵を孵卵器に入れてから、21日間経つと福地鶏のヒナが生まれてきます。

←まだ、起きたての顔をしています。
(^^)



バタリー育雛舎(ヒナを育てるケージ)に移す前に外で記念撮影

福地鶏は白、茶、黒の3色のヒナが生まれます。



バタリー育雛舎内のヒナです。
平飼い鶏舎に移しても大丈夫な大きさになる28日齢まで、飼養されます。



平飼い鶏舎へ移るころにはトサカが出てきて鶏らしい姿になります。
←凛々しい姿ですね。



広々とした空間内で福地鶏生産者へ譲渡される120日齢まで飼養されます。



譲渡間際の福地鶏です。
止まり木に上って得意の様子です！



同じく譲渡間際の福地鶏です。
福井県が誇る恐竜みたいに見えますね。



出荷用かごに福地鶏を詰めて生産農家へ出荷します。



出荷先で 180 日齢を過ぎたころたまごを安定的に産むようになります。



福地鶏のたまごです。



割って中身を見てみると。
黄身が大きいたまごです。
また、白身は弾力があり、味は濃厚です。
ぜひ、お買い求めください！



←このロゴマーク
が目印です。

福地鶏